

新しい地方経済・生活環境創生交付金活用事業(令和7年度)の効果検証について

No.	交付対象事業 の名称	事業年度	事業概要	事業費 (内交付金額)	事業の成果を複数年に わたって計測するためのKPI				外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の 今後について	
					指標		当該年度の 目標値	実績値 (R7)	事業の 評価	外部有識者 からの意見	今後の方針	今後の方針の 理由
1	町民にやさしい窓口の推進事業 (補助率1/2)	令和7年度 ～ 令和9年度	・自動証明書発行機サービスの導入(3,014千円) 住民自らの必要な証明書を短時間で取得できる自動証明書発行機1台を導入し、従来の手続きで必要であった書類記入や窓口での待ち時間を削減し、手軽に必要な証明書を取得できる環境を整備することで利便性を大幅に向上させる。 ・キャッシュレス決済サービスの導入(1,053千円) 行政手続きでの支払いをスムーズにし、利便性を高めるために、POSレジシステムと現金以外の多様な支払い方法が可能なキャッシュレス決済手段を導入し、住民が快適に支払いを行える環境を整備する。 (導入時期) 令和8年3月	4,067千円 (2,034千円)	①	自動証明書交付機の利用者数	200人	457人	地方創生に 有効であった	-	事業の継続	一定の効果が 見られたため、 引き続き事業 を実施する。
					②	キャッシュレス決済利用率	5%	8.61%				
					③	システム利用の満足度(キャッシュレス決済) ※5段階評価のアンケート結果	3.5ポイント	4.4ポイント				
					④	窓口利用回数の減少(自動証明書発行機)	10%	21%				
2	オンライン口座振替受付サービス導入事業 (補助率1/2)	令和7年度 ～ 令和9年度	・ペイジー口座振替受付サービスの導入(1,870千円) キャッシュカードを通し、暗証番号を入力することによって、瞬時に口座振替申し込み手続きを完了する専用端末を窓口に設置する。ペーパーレス、サインレス、印鑑レスで、手続きの煩雑さや完了までにかかる時間を軽減でき、高齢者や忙しい家庭にとっては利便性が大幅に向上する。 ・WEB口座振替受付サービスの導入(6,143千円) インターネットを利用した口座振替の申込手続きを可能とする。24時間365日いつでも手続きを行うことができ、申込後即座に手続きが完了する。ペーパーレス、サインレス、印鑑レスで、手続きの煩雑さや完了までにかかる時間を軽減でき、特に忙しい働き世代にとっては利便性が大幅に向上する。 (導入時期) 令和7年10月	8,013千円 (4,007千円)	①	ペイジー口座振替受付サービスによる申込件数	240件	185件	地方創生に 有効であった	・KPI達成のために取り組みを強化する必要がある。 ・高齢者にはシステムが難しいため、窓口での案内などフォローに力を入れる必要がある。	事業の継続	一定の効果が 見られたため、 引き続き事業 を実施する。
					②	WEB口座振替受付サービスによる申込件数	240件	74件				
					③	ペイジー口座振替受付サービス利用満足度 ※5段階評価のアンケート結果	3.5ポイント	4.8ポイント				
					④	WEB口座振替受付サービス利用満足度 ※5段階評価のアンケート結果	3.5ポイント	4.8ポイント				
					⑤	手続き時間の減少	7,200分	2,960分				
3	人工衛星を用いた漏水調査事業 (補助率1/2)	令和7年度 ～ 令和9年度	・人工衛星を用いた漏水リスク評価サービスの導入(4,970千円) 人工衛星で撮影した衛星画像を解析し、地表温度等による水道管への負荷、地盤変動データと水道課の持つ水道管路情報を組み合わせることで漏水リスクを診断し、効率的な漏水の発見や修繕につなげ、修繕工事の事前告知などで緊急断水による日常生活への負担を軽減することが可能であるほか、漏水による地盤沈下や道路の損傷などの二次被害を防ぐ効果も見込める。 (導入時期) 令和8年2月	4,970千円 (2,485千円)	①	漏水件数の減少	100件	96件	地方創生に 有効であった	-	事業の継続	一定の効果が 見られたため、 引き続き事業 を実施する。
					②	管路更新及び維持管理計画への反映	1箇所	1箇所				
					③	住民の苦情件数の減少	50件	48件				
					④	有収率	84%	80.7%				

No.	交付対象事業 の名称	事業年度	事業概要	事業費 (内交付金額)	事業の成果を複数年に わたって計測するためのKPI				外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の 今後について	
					指標		当該年度の 目標値	実績値 (R7)	事業の 評価	外部有識者 からの意見	今後の方針	今後の方針の 理由
4	ICTを活用した 不登校防止対 策事業 (補助率1/2)	令和7年度 ～ 令和9年度	・こころの健康観察アプリの導入(687千円) GIGAスクール構想に基づき整備した一人一台タブレット 端末に、「こころの健康観察アプリ」を導入することで、児 童、生徒の心の状態を把握することができ、早期の声掛け などにつなげられる。また、相談の希望についてもアプリを 通じて連絡できるため、相談しやすい環境を構築すること で不登校の未然防止につなげることが期待できる。 (導入時期) 令和7年10月	687千円 (343千円)	①	アプリを通じた先生への連絡回 数	230回	138回	地方創生に 有効であった	-	事業の継続	一定の効果が 見られたため、 引き続き事業 を実施する。
					②	不登校になる児童生徒の出現率	小学校： 1.59% 中学校： 6.28%	小学校： 2.49% 中学校： 5.69%				
5	デジタル技術 を活用した議 会の「見える・ 伝わる」化事 業 (補助率1/2)	令和7年度 ～ 令和9年度	・ディスプレイ表示サービスの導入(990千円) 議員が一般質問の際に使用する図や統計資料及び採 決システムによる議案の採決結果を、インターネット配信 動画の視聴者モニターや議場モニターに投影し、質問内 容の補足資料が、モニター表示されることで、視聴者及び 傍聴者は、議員の一般質問の趣旨や質問内容への理解 を高めることが可能となること、また採決システムにより、各 議員の賛否が分かるなど、「誰にとってもわかりやすい」、 「伝わる議会」を実現する。 (導入時期) 令和7年12月	990千円 (495千円)	①	録画配信再生回数	4,200回	25,607回	地方創生に 有効であった	-	事業の継続	一定の効果が 見られたため、 引き続き事業 を実施する。
					②	質問資料を表示する議員数	3人	0人				
					③	本会議のオンライン中継視聴者 数	100人	141人				
					④	質問内容の理解度、再傍聴(視 聴)の意向 ※3段階評価のアンケート結果	2.3ポイント	2.51ポイント				
					⑤	町議会への関心度 ※3段階評価のアンケート結果	2.0ポイント	2.92ポイント				
					⑥	資料映像満足度 ※3段階評価のアンケート結果	2.0ポイント	2.4ポイント				
					⑦	町議会への期待度 ※3段階評価のアンケート結果	2.0ポイント	未計測				
6	いばらきサイク ルツーリズム 推進強化事業 (補助率1/2)	令和3年度 ～ 令和7年度	・サイクルツーリズムの推進に向け、誘客促進や情報発信 のため、サイクリングガイドの作成、サイクリングイベントの 実施、大洗・ひたち海浜シーサイドルート利用促進協議会 への参加などに取り組んだ。 ・サイクリングガイドの作成(160千円) (発行日)令和7年9月 ・サイクリングイベント「はしってまわしてアイテムゲット！」 を実施(175千円) (開催期間)令和7年9月1日から11月30日 ・大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会負 担金(200千円)	535千円 (267千円)	①	町における観光客動態調査にお ける入込客数	904,000人	406,355人	総合戦略の KPI達成に有 効であった	-	事業の継続	一定の効果が 見られたため、 引き続き事業 を実施する。
					②	サイクリング拠点の整備数	1箇所	1箇所				
合計				19,262千円 (9,631千円)								

【新しい地方経済・生活環境創生交付金】

地方創生の推進を図るため、地方自治体の独自の取り組みを支援することを目的として交付される。事業NO.1-5がデジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する取り組みを支援するもの。事業NO.6は地方公共団体の自主性と創意工夫に基づき、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取り組みを支援するもの。